

かさがかかると天気は雨？

空のようすなどから天気を予想する昔からの言い伝えにはいろいろあります。その中でも「夕焼けが見えると明日は晴」、「かさがかかると天気は雨」などはよく知られています。「夕焼け」を知らない人はいません。それでは「かさ」はどうでしょう？

ハロー

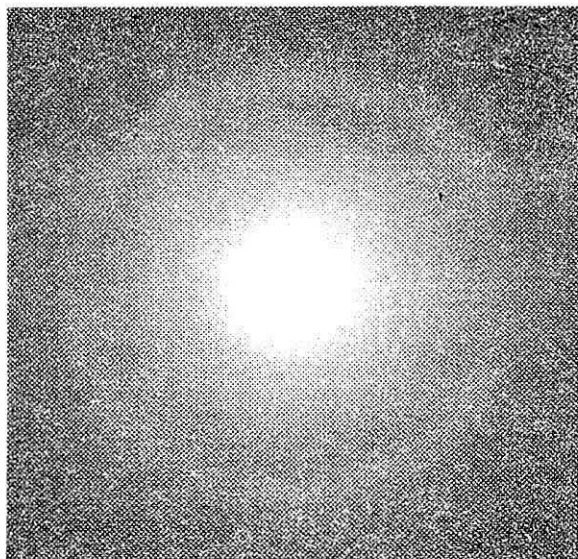
空に、白く薄い層になった「うす雲」があるとき、太陽を中心にして角度にして22度のところに内側が赤で、外側が黄色っぽくなっている輪が見つかります。それが「かさ」です。

かさは漢字でかくと「暈」、英語ではハロー (halo) といいます。英語のほうが簡単ですね。

うす雲は温暖前線を伴った低気圧が近づいてくるときなどに現れます。ですから、ハローが見えるということは、やがて低気圧が接近し雨が降ることを意味します。

ハローはどうしてできる

うす雲は空の高いところにできる雲です。このためこの雲は水滴ではなく、小さな氷の結晶でできています。ハローはこの結晶にあたった太陽や月の光が屈折されてできたものです。



太陽の周りに現れたハロー

小さな氷の結晶の形、浮かんでいる状態などによって、ふつうは丸いハローもさまざまな形になることがあります。そして、それらのハローが同時に見えることもあります。



同時に見えているいろいろなハロー

ハローの形から、うす雲の中の小さな氷の結晶の形や浮かんでいるようすがわかります。氷の結晶の形は気温に関係します。また浮かび方は空気の流れに関係します。つまりハローは私たちに空の高いところの気温や空気の流れの情報を伝えてくれるわけです。

ハローは春によく見える

ハローは意外とよく現れる現象です。富山でも一年間にだいたい40回ほど見え、そのうちの多くが春の3月から5月にかけて見えます。

今がチャンス、空を見上げてみてください。

ハローを見つけたら、その後の天気はどうなるでしょう？

「かさがかかると天気は雨」かな？

(吉村博儀)



富山市科学文化センター

〒939 富山市西中野町1-8-31

TEL (0764) 91-2123 (代表)

平成6年5月1日